

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	36	ステップハウス運営事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-ア		
担当部課名	子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心に暮らせる地域づくり Ⅲ-4		
事業内容	DV被害者等が、女性相談所の一時保護所を退所後に、地域で自立した生活を送るために、心のケアや自立に向けた準備等をするための中間施設として、ステップハウスを運営(民間事業者に委託)し、自立に向けた支援を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,214	—	16,280	0	14,363
		(b) 予算現額	19,214	—	16,280	0	12,270
		(c) 増減額(b-a)	0	—	0	0	▲ 2,093
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	19,214	—	16,280	0	12,270
	B. 執行済額		7,893	—	7,609	0	7,475
	うち交付金充当額		6,314	—	6,087	0	5,980
	C. 次年度繰越額		0	—	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		41.1%	—	46.7%	—	60.9%
予算の状況の説明		・予算額は、事業実施に係る委託料を計上している。 ・委託業務における支援世帯数の実績が計画を下回ったため、アパート借上料等の不用が発生し、執行率は60.9%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	支援世帯数 10世帯	目標	10世帯	10世帯	10世帯	10世帯	
		実績	2世帯	5世帯	4世帯	5世帯	
			目標				
		実績					
達成状況説明		・本事業は、DV被害者の中で一時保護所に入所していた方を支援対象者とし、一時保護所退所後のいくつかある支援策の一つとして行っている。一時保護所を退所する方に対して周知等を行っているが、本人の選択により、実家や親類宅、婦人保護施設への入所を選択する人もいるため、計画を下回っている。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(〇〇年度)
	支援により自立した世帯数 4世帯	目標	—	4世帯	4世帯	4世帯	
		実績	—	4世帯	4世帯	4世帯	
			目標				
			実績				
進捗状況説明		・心のケアや就労支援などDV被害者が地域で安心した生活が送れる環境が整い自立した世帯が4世帯となり、目標を達成している。 ・また、今後も一時保護所を退所したDV被害者に本事業の周知を図り、事業成果を上げていく。					

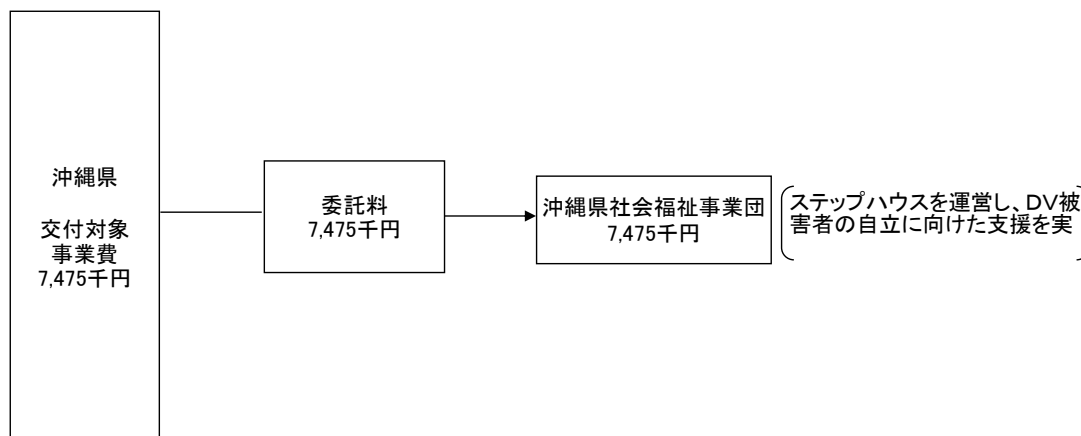
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本事業は、DV被害者の中で一時保護所に入所していた方を支援対象者とし、一時保護所退所後のいくつかある支援策の一つとして行っている。一時保護所を退所する方に対して周知等を行っているが、本人の選択により、実家や親類宅、婦人保護施設への入所を選択する人もいる。</p>	<p>女性相談所やDV関係機関と連携し、会議等の場で意見聴取しながら、必要な実施要綱等の改正や運用方法の見直し、対象者への事業案内の徹底等に取り組んでいく。</p>

今後の取り組み方針

・事業実施の効果を上げるため、H27年度からは本事業の委託先を婦人保護の関係機関に変更し、実施要綱の運用面における見直しも行った。今後も女性相談所等のDV関係機関で更なる連携強化を図り、事業実施の連携等でより効果が発揮できる体制作りに取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
7,475	7,475	5,980	1,495	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は、沖縄県ステップハウス運営事業実施要綱に基づき、沖縄県内で婦人保護事業や配偶者等からの暴力に対する問題への積極的な取り組みなどの支援実績等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○委託料の使途等については、年度途中の報告及び額の確定時において支出等に関する書類を確認し、適正であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	46 女性のためのセーフティネット実証事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(4)-ア		
	子ども生活福祉部 平和援護・男女参画課		事業実施(予定)年度	平成 26 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		安全・安心に暮らせる地域づくり Ⅲ-4
事業内容	性暴力・DVの再発防止・未然防止施策の効果的な実施のため、女性のためのセーフティネット施策の実証を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	0	—	28,357	0	56,985
		(b) 予算現額	0	—	28,357	0	31,362
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	0	▲ 25,623
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	0	—	28,357	0	31,362
	執行額	B. 執行済額	0	—	17,878	0	28,886
		うち交付金充当額	0	—	14,302	0	23,109
		C. 次年度繰越額	0	—	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	—	—	63.0%	—	92.1%
予算の状況の説明	<p>・(C)増減額については、「性暴力被害者ワンストップ支援センター実証事業(委託料)」において、同センターを24時間稼働させるための人員体制が整っていないため、減額補正したことによる。</p> <p>・「性暴力被害者ワンストップ支援センター実証事業(委託料)」において、被害者との面談や医療機関等への同行支援回数が当初見込みより少なかったこと等により、執行率が92.1%となった。</p>						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	性暴力被害者ワンストップ支援センターの運営及び事例の検証(1施設)	目標			1	1	
		実績			1	1	
	DV防止のためのワークショップ実施(学校10校、年5回×2クール)	目標			10	10	
		実績			16	14	
	メディアを活用した性暴力・性犯罪防止広報啓発(15秒CMを3局で80本放映)	目標				80	
実績					81		
達成状況説明	<p>・性暴力被害者ワンストップ支援センターの運営を行い、71件の新規相談を含む延べ463件の相談等に対応し、相談業務被害者支援の一助となった。</p> <p>・DV予防講座の実施数については、14校で実施し、中学3件、高校9件、児童養護施設2件。</p> <p>・広報啓発事業については、沖縄広告(株)に委託し、TVCMを81本放送し、CMを補完する形でネットに特設サイトを開設した。(8月2日～2月28日まで10,681PV)</p>						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (〇〇年度)
	性暴力被害者ワンストップ支援のネットワーク構築 県内のDV等の被害者支援ネットワーク構築	目標			ネットワーク構築	ネットワーク構築	
		実績			ネットワーク一部未構築	ネットワーク一部未構築	
	進捗状況説明	<p>・平成27年2月の性暴力被害者ワンストップ支援センター開設から1年が経過し、運営ノウハウの蓄積が進んだ。</p> <p>・県立中部病院や県警等、12の機関から構成される運営検証委員会を3回開催し、関係機関の連携体制の強化について検討を行った結果、運営委託を行っている沖縄県看護協会やその他関係機関とのネットワークがある程度構築され概ね目標は達成された。</p> <p>・しかし、民間病院からの医師や看護師等の派遣に係る連携体制については、今後、看護協会や医師会と調整し協力を求めていくこととしておりネットワークが未構築である。</p>					

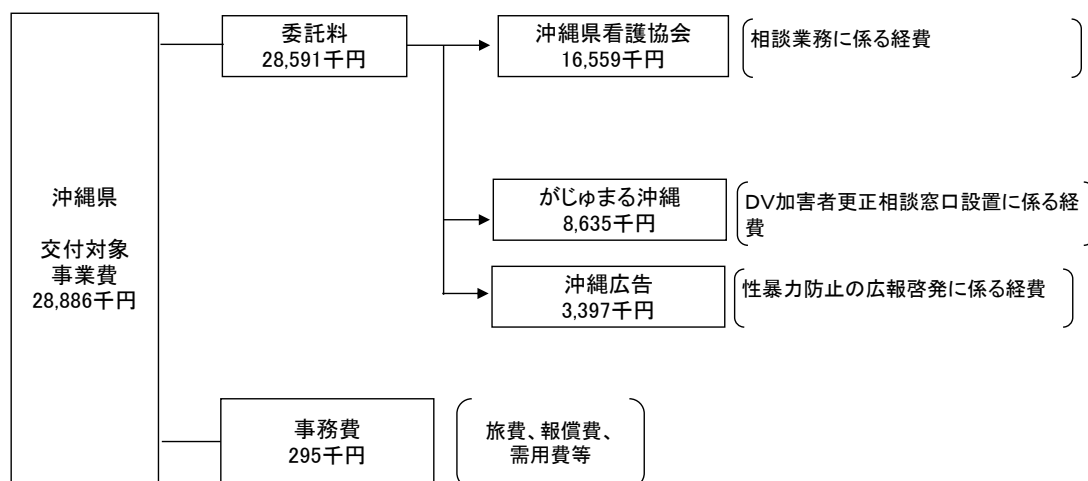
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績は、目標どおり又は目標以上となったため、「達成」と評価する。 成果実績は、一部関係機関との連携が整っていないため「未達成」とする。 「沖縄県性暴力ワンストップ支援センター運営検証委員会」を3回開催し、センターの運営上の課題等について検証を行い、24時間365日稼働可能な体制を構築するため、県立中部病院の敷地内にワンストップ支援センターの整備を進めることとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 性暴力被害者ワンストップ支援センターを24時間365日体制で運営するためには、早急に施設整備を行うこと、沖縄県看護協会や医師会等との連携を強化し、相談支援員、医師及び看護師の確保を図る必要がある。 性暴力被害者ワンストップ支援センターの周知及び性暴力・性犯罪に対する啓発の効率的手法等について検討する。

今後の取り組み方針

- 性暴力被害者ワンストップ支援センターの24時間365日体制の構築に向けて、引き続き沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター運営検証委員会において、関係機関と検討を進めていく。
- 相談支援員の増員及び育成のため、沖縄県看護協会や医師会等関係機関のネットワークを活用し公募等により人材確保を行い、研修会への参加を通して人材育成に努める。
- 一般県民に対しより広く、ワンストップ支援センターについての周知及び性暴力についての啓発を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
28,886	28,886	23,109	5,777	0	0	0



資金の流れ、費目の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、性暴力防止の広報啓発に係る委託については、公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。広報啓発以外の委託については、随意契約により委託契約を締結したが、それぞれ性暴力被害等に関する知識やノウハウ等を総合的に勘案した上で団体を選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに限定し、額の確定時において支出に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

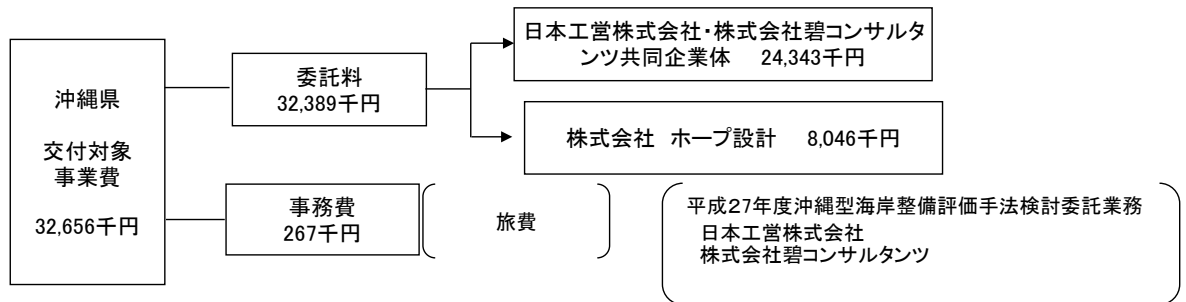
事業番号・事業名	109	沖縄型海岸整備促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
	担当部課名	農林水産部 村づくり計画課	事業実施(予定)年度	平成 25 ~ 29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	沖縄県の特성에ふさわしい海岸の創出を図るため、「利用、親しみやすい海岸」、「亜熱帯特有の生態系の保全」及び「本県の特異な暑さ対策、海岸環境保全」を目的とした沖縄型海岸整備のための指針を策定する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,000	-	33,847	-	34,997
		(b) 予算現額	23,000	-	33,847	-	34,997
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0	-	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計 (b+d)	23,000	-	33,847	-	34,997
	執行額	B. 執行済額	22,269	-	33,410	-	32,656
		うち交付金充当額	17,815	-	26,728	-	26,125
		C. 次年度繰越額	0	-	0	-	0
	執行率 (%) (B/A)	96.8%	-	98.7%	-	93.3%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・予算額は、沖縄型海岸整備指針(仮称)(案)の策定に係る委託料と旅費を計上したところである。 ・執行率は93.3%であり、実績精算による不用額(2,341千円)が発生したことによるものである。 						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	モデル地区における設計の実施	目標	-	-	-	基本設計の実施	
		実績	-	-	-	基本設計の実施	
	評価・効果検討事前調査の実施	目標	-	-	-	評価・効果に必要な事前調査を実施	
		実績	-	-	-	評価・効果に必要な事前調査を実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会を開催し地元の合意形成を図りながら、モデル地区における沖縄らしい環境等に配慮した海岸保全施設の基本設計を実施し、また、評価手法及び効果検討に必要な事前の環境調査等を実施することができたことから、活動目標は「達成」と評価した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(29年度)
	沖縄型海岸整備指針(仮称)の策定に向けたモデル地区の設計及び調査	目標	-	-	-	モデル地区の設計及び調査	指針の策定
		実績	-	-	-	モデル地区の設計及び調査	-
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄型海岸整備指針(仮称)の策定に向け、モデル地区において説明会を開催し地元の合意形成を図りながら、沖縄らしい環境等に配慮した海岸保全施設の設計及び環境調査等を実施することができたことから、成果目標は「達成」と評価した。 					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績は、モデル地区において地元合意を形成し設計を完了することができた。また、評価・効果検討については、モデル地区を対象として事前調査を完了することができたことから、目標は「達成」と評価する。 成果実績は、設計の完了、評価・効果検討の事前調査を実施したことから、目標は「達成」と評価する。 モデル地区の整備については、既存事業(公共投資交付金)にて実施可能な内容を含んでいることから、既存事業の活用範囲を明確に把握する必要がある。 上記の既存事業の活用によりモデル地区の整備開始時期が遅れることとなった。指針の策定にはモデル地区の整備中・整備後の環境影響を調査する必要があるため、本ソフト事業についての終期をH29からH32へ延伸する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業については、防護面だけでなく環境面、利用面における利用価値等を判断していくことが重要となるため、今後沖縄型海岸整備の内容を決定する過程において、整備による環境面及び利用面における事業評価手法についても検討していく必要がある。 維持管理については、地域協働における管理手法を検討する必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 本事業については、防護面だけでなく環境面、利用面における利用価値等を判断していくことが重要となるため、今後沖縄型海岸整備の内容を決定する過程において、整備による環境面及び利用面における事業評価手法についても検討していく。 地域協働を誘発できる管理手法の検討を行う。 H29新規地区(海岸保全施設整備事業)としてモデル地区を採択。整備を円滑に推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
32,656	32,656	26,125	6,531	0	0	0

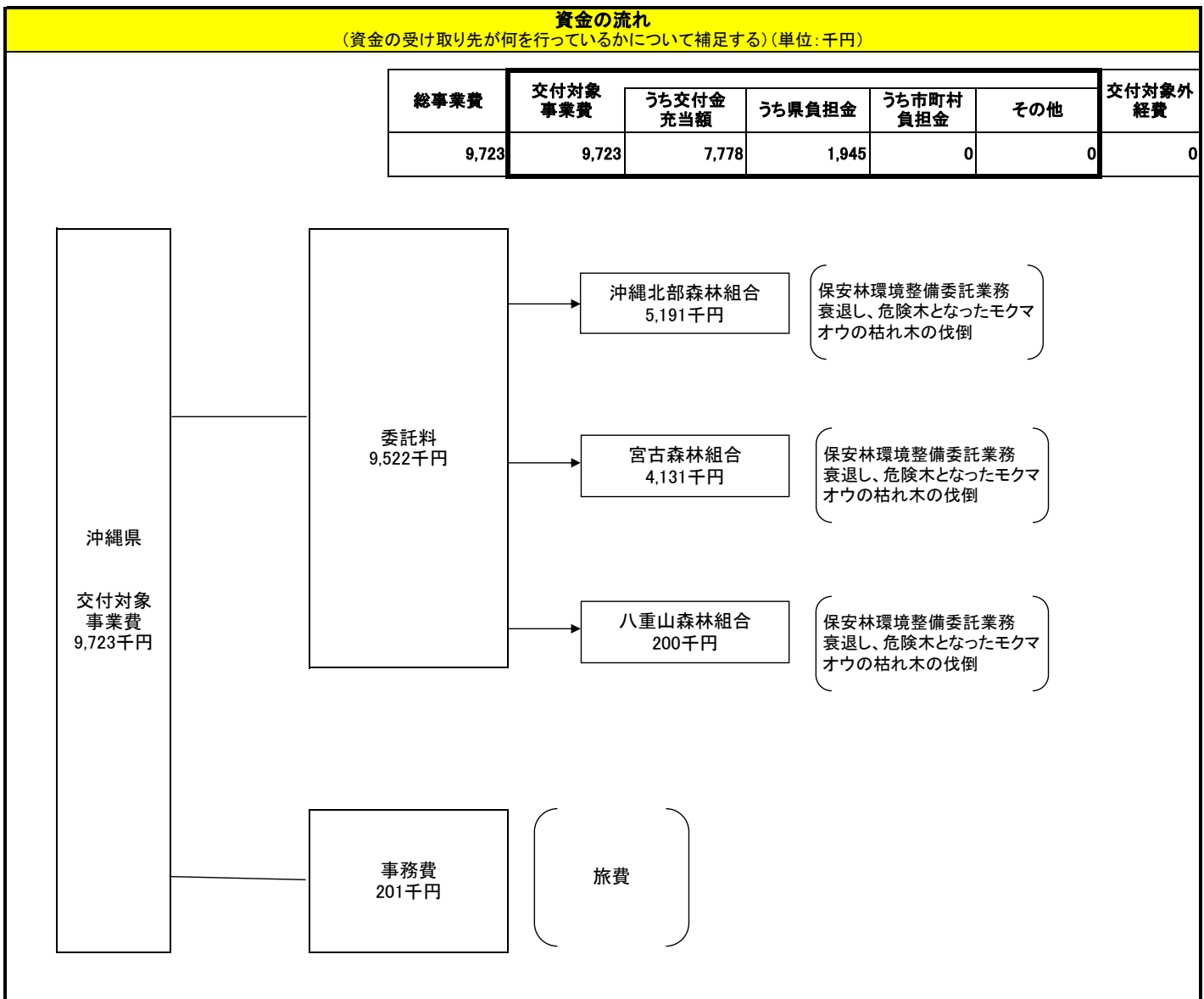


資金の 用途の 流れ、 費用 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、平成26年度公募型プロポーザル方式により企業実績、知識等を勘案した上で選定しており、前年度の実績と蓄えたノウハウを生かし、限られた期間内で円滑な履行を確保し、効率的に最良の調査結果を得るため、本事業に熟知し必要な業務体制を備えた業者と随意契約を行ったことは、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出に関する書類により確認し適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	114	保安林環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	農林水産部 森林管理課		事業実施(予定)年度	平成 25 ~ 27 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県づくりと防災体制の強化 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	保安林内の樹木による、隣接する住宅、農地等への被害の防止及び隣接するビーチの利用者の安全を確保するため、衰退したモクマオウの幹、枝の剪定等と危険な枯れ木の伐採及び保安林の機能を維持するため伐採後に潮風害に強い他の樹種を植栽する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	10,000	-	5,700	0	9,936
		(b) 予算現額	10,000	-	5,700	0	9,936
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計 (b+d)	10,000	-	5,700	0	9,936
	B. 執行済額		6,793	-	5,600	0	9,723
	うち交付金充当額		5,435	-	4,480	0	7,778
	C. 次年度繰越額		0	-	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		67.9%	-	98.2%	-	97.9%
予算の状況の説明		執行率は97.9%であり、不用額のうち委託料については入札残、また事務費については最低限必要な執行に努めたことによるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	整備地区数 3地区	目標	-	3地区	2地区	3地区	
		実績	-	3地区	2地区	3地区	
			目標				
		実績					
達成状況説明	市町村要望調査を踏まえ、北部、宮古、八重山の3地区の要望箇所について目標を達成することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (25年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (28年度)
	衰退したモクマオウの処理 3地区で409本 (内訳) 北部地区240本 宮古地区147本 八重山地区22本	目標	3地区	3地区	2地区 (360本)	3地区 (409本)	-
		実績	-	3地区	2地区 (271本)	3地区 (491本)	-
			目標				
			実績				
進捗状況説明	市町村要望を踏まえ設定した北部地区254本、宮古地区224本、八重山地区13本の要望箇所について、衰退したモクマオウの処理を全て実施し目標を達成することができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村へ事業の趣旨及び内容の周知を行ったことで、H27年度には八重山地区から要望があり事業を実施することができた。 ・活動実績は、目標の7地区(累計)で事業実施したことから「達成」と評価する。 ・成果実績は、目標の7地区において、衰退したモクマオウの処理を実施したので「達成」と評価する。 ・地域毎の保安林の現状と住民ニーズについて市町村と調整の必要があると考える。 ・市町村の要望調査結果と合わせて、県職員による現地確認により対策の必要な箇所の掘り起こしを行う必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村への事業内容の説明の強化及び県担当職員の現地調査の実施の検討により、整備の推進を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>平成27年度で事業期間満了を迎えたので、事業を実施した箇所の追跡調査を行いたい。</p>		



資金の流 れ、費 用 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により技術、知識等を勘案した上で選定しており妥当と考える。 ○予算規模、費目・用途については、契約内容から事業目的達成の観点から必要なものに支出されており適正であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	